

東葛地区少年サッカー大会

3年生大会（8人制）実施要項

趣 旨	将来をになう少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、さらに技術の向上と健全心身の育成・発展を図ることを目的とし、東葛地区少年サッカー連盟・加盟チームの全てが参加できる大会として本大会を開催する。この大会は、少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして想像力豊かな人間の育成を目指すものである。
名 称	東葛地区少年サッカー大会3年生大会（8人制）
主 催	東葛地区少年サッカー連盟
主 管	東葛地区少年サッカー連盟（流山市地区・野田市地区）
後 援	読売新聞、千葉北部、西部読売
参加資格	東葛地区少年サッカー連盟に加盟登録した団体（チーム）で、所定の用紙にて本大会参加申込み手続きを終えたチームであること。上記団体（チーム）に所属する選手である事。参加は1クラブ複数チームでも可とするが、当該学年未満のみで構成されたチームの参加は認めない。 <u>エントリー終了後の選手の入替えは認めない。</u> 参加費3,000円（1チーム）
期日及び 会 場	予選リーグ戦 5月～10月18日（火）迄に各主管チームにて、終了の事。 決勝トーナメント戦 平成28年10月30日（日） 野田市スポーツ公園 平成28年11月13日（日） 河川敷サッカー場 予備日 11月6日（日）・19日（土）野田市スポーツ公園・おたかの森スポーツフィールド
チームの 構成と条件	チームの構成は引率指導者3名以内、選手16名以内である事。（予選は除く） A) 引率者は当該チームを掌握指導し、責任ある指導者である事。 B) 選手は健康であり、かつ保護者の同意のあるものに限る。 C) 参加チームはスポーツ傷害保険に必ず加入している事。 D) 参加チームは、審判員2名を帯同している事。
競技規則	① 8人制サッカーとする。試合時間は30分間（前・後半各15分間、ハーフタイムは5分）とする。 ② 予選リーグ勝点方式（勝：3点・引分け：1点・負：0点）勝点が同じ場合は、得失点差、総得点、直接対決成績、さらに決しない場合は3人によるPK方式で決める。 ③ 決勝トーナメント戦の引分けはPK戦方式で決定する。但し、決勝戦は10分（5分ハーフ）の延長戦を行い、なお決しない場合は3人によるPK方式とする。 ④ 参加クラブは年度始めに大会参加申込書（所定用紙）を必ず提出の事。 ⑤ 複数エントリーチームは、抽選日以前の定められた期日までに事務局へメンバー表を提出し、試合毎に「事務局へ提出したメンバー表」と同じものを主管チームまたは主管地域へ提出し、メンバー確認を行う。 複数エントリーチームの新規追加選手については、会場責任者に「エントリー選手追加願い」を提出し、承認を得る。控えは毎試合持参する。（予選リーグのみ適用） ⑥ 選手はいかなる理由であっても、チームをダブって出場する事は出来ない。 ⑦ 選手の交代は、予選リーグ戦は選手全員がベンチ入りでき、自由な交代を適用する。（一度退いた競技者も再び出場でき、何回も交代可能とする） 決勝トーナメント戦でのベンチ入りできる選手は16名と指導者3名とする。 ピッチでの練習も同様とする。 交代の方法は、交代して退く選手は交代ゾーンからフィールドの外に出る。交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り競技者となる。

交代は、インプレー中・アウトプレー中に関わらず行う事が出来る。

但し、ゴールキーパーは、試合の停止中に主審に通知した上で交代が出来る。

- ⑧ 予選リーグ1位、2位のチームにて決勝トーナメント戦を実施する。
- ⑨ その他のルールは2016年度(公財)日本サッカー協会の競技規則に準ずる。
但し、以下の項目については、特に本大会規則として定める。
- ⑩ A)ピッチサイズ:長さ55~60m 幅40~50m
但し、試合会場の大きさにより変更は可能とする。
B)ペナルティーエリア:12m
C)ペナルティーマーク:8m・ペナルティーアークの半径:7m
D)ゴール:内より縦2.15m、横5m
E)ゴールエリア:縦4m・センターサークル:半径7m
F)交代ゾーン:ベンチ側のタッチラインのハーフウェーに6mの交代ゾーンを設ける
ハーフウェーラインを挟んで3mづつ
(B~F・やむなく使用会場のサイズを適用する事もある)
G)ボール:4号縫いボール
H)スパイクは使用可(ただし固定式)、すね当てを着用する。

- ⑪ 決勝トーナメント進出チームは自チーム最初の試合時までエントリー表(最大25名)、メンバー表(3部)を提出し、メンバー表は試合毎に提出する事。

試合の
運営方法

- ① 予選リーグの審判は試合を行っていないチームが行う。
- ② 決勝トーナメント戦の第1試合目は第3試合目の両チームが責任をもって審判する事。以降は試合が終了した両チームが責任をもって審判する事。但し、決勝戦は3位チームで行う。
- ③ 審判は試合前の打ち合わせを、該当する試合前の30分前から始める事。
又、試合後は報告を主管チーム責任者に報告し、主管クラブは予選リーグ終了後速やかに、東葛連盟・事務局に文書で報告(メール可)の事。
- ④ 予選リーグ戦の選手のベンチ入りは自由とするが、決勝トーナメント戦はエントリー表に記載された選手16名以内、指導者3名以内とする。
- ⑤ 決勝トーナメント戦ピッチの試合前の練習はエントリーされた16名と指導者3名までとする。(決勝トーナメントより、試合毎にメンバー表を3部提出する事)
- ⑥ 累積警告2回は、次の試合は出場停止とする。退場の場合は、次の1試合を出場停止とする。
- ⑦ 怒鳴ることがないようにしましょう(保護者や応援の人は指示をしない)。
- ⑧ ケガについて応急処置は行うが、その後は各チームの責任において行う事。
- ⑨ 参加チームはユニホーム正副2着を用意する事(GK・ストッキング含む)。
- ⑩ 会場内は全て禁煙とする。喫煙所が指定されている場合はそれに従う事。
- ⑪ 会場へは公共交通機関を利用して下さい。やむを得ず車利用の場合は、1チーム5台以内とし、車のフロントにチーム名を必ず記載する事(厳守)。

表彰

- 1位から3位まで表彰する。
1位 : 優勝カップ、優勝旗、盾、メダル(16個)、ボール
2位 : 盾、メダル(16個)、ボール
3位 : 盾、メダル(16個)、ボール 2チーム

*大会事務局(窓口) 小笠原 保

東葛地区少年サッカー大会

東葛リーグ戦4年生以下の部サッカー大会 実施要項

- 趣 旨** 将来をになう少年たちのサッカーへの興味・関心を深め、さらに技術の向上と健全心身の育成・発展を図ることを目的とし、東葛地区少年サッカー連盟・加盟チームの全てが参加できる大会として本大会を開催する。この大会は、少年たちがサッカーを通じて身体を鍛え、フェアプレーの精神を養い、正しく強くそして想像力豊かな人間の育成を目指すものである。
- 名 称** 東葛地区少年サッカー大会 東葛リーグ戦4年生以下の部サッカー大会
- 主 催** 東葛地区少年サッカー連盟
- 主 管** 東葛地区少年サッカー連盟 (我孫子市地区、印西市地区、白井市地区)
- 後 援** 読売新聞、千葉北部、西部読売会
- 参加資格** 東葛地区少年サッカー連盟に加盟登録した団体(チーム)で、所定の用紙にて本大会参加申込み手続きを終えたチームであること。上記団体(チーム)に所属する選手である事。参加は1クラブ複数チームでも可とするが、当該学年未満のみで構成されたチームの参加は認めない。エントリー終了後の選手の入れ替えは認めない。
- 参加費** 3,000円(1チーム)
- 期日及び会場** 予選リーグ戦 5月～11月14日(月)までに各主管チームにて、終了の事。
決勝トーナメント戦 平成28年11月26日(土)我孫子市利根川ゆうゆう公園サッカー場
平成28年12月3日(土) 同上
- 予備日** 11月27日(日)・12月4日(日)・10日(土) 同上
- ベスト4** 平成28年12月中頃 開催場所後日連絡
- チームの構成と条件** チームの構成は引率指導者3名以内、選手21名以内である事。(予選は除く)
- A) 引率者は当該チームを掌握指導する、責任ある指導者である事。
B) 選手は健康であり、かつ保護者の同意のあるものに限る。
C) 参加全チームはスポーツ傷害保険に必ず加入している事。
D) 参加全チームは、審判員を2名帯同している事。
- 競技規則**
- ① 11人制サッカーとする。試合時間は40分間(前・後半各20分間、ハーフタイムは5分)とする。
 - ② 予選リーグ勝点方式(勝:3点・引分け:1点・負:0点)勝点と同じ場合は、得失点差、総得点、直接対決成績、さらに決しない場合は5人によるPK方式で決める。
 - ③ 決勝トーナメント戦の引分けはPK戦方式で決定する。但し、決勝戦は10分(5分ハーフ)の延長戦を行い、なお決しない場合はPK方式とする。
 - ④ 参加クラブは年度始めに大会参加申込書(所定用紙)を提出の事。
 - ⑤ 複数エントリーチームは、抽選日以前の定められた期日までに事務局へメンバー表を提出し、試合毎に「事務局へ提出したメンバー表」と同じものを主管チームまたは主管地域へ提出し、メンバー確認を行う。
複数エントリーチームの新規追加選手については、会場責任者に「エントリー選出追加願い」を提出し、承認を得る。控えは毎試合持参する。(予選リーグのみ適用)
 - ⑥ 選手はいかなる理由であっても、チームをダブって出る事は出来ない。
 - ⑦ 選手の交代は、予選リーグ戦は選手全員がベンチ入りでき、自由な交代を適用する。
(一度退いた競技者も再び出場でき、何回も交代可能とする)

決勝トーナメント戦でのベンチ入りできる選手は21名と指導者3名とする。

ピッチでの練習も同様とする。交代は自由な交代を適応する。

- ⑧ 予選リーグ1位、2位のチームにて決勝トーナメント戦を実施する。
- ⑨ その他のルールは2016年度（公財）日本サッカー協会の競技規則に準ずる。但し、以下の項目については、特に本大会規則として定める。
- ⑩ A)ピッチサイズ：長さ80m 幅50m
但し、試合会場の大きさにより変更は可能とする。
B)ペナルティーエリア：12m
C)ペナルティーマーク：8m・ペナルティーアークの半径：7m
D)ゴール：内のり縦2.15m、横5m
E)ゴールエリア：縦4m・センターサークル：半径7m。
(B～E：やむなく使用会場のサイズを適用する事もある)
F)ボール：4号縫いボール。
G)スパイクは使用可。(ただし固定式)すね当てを着用する。
- ⑪ 決勝トーナメント進出チームは自チーム最初の試合時までにエントリー表(最大30名)、メンバー表(3部)を提出し、メンバー表は試合毎に提出する事。

試合の

運営方法

- ① 予選リーグの審判は試合を行っていないチームが行う。
- ② 決勝トーナメント戦の第1試合目は第3試合目の両チームが責任をもって審判する事。以降は試合が終了した両チームが責任をもって審判する事。但し、決勝戦は3位チームで行う。
- ③ 審判は試合前の打ち合わせを、前の試合のハーフタイムから始める事。
又、試合後は報告を主管チーム責任者に報告し、主管クラブは予選リーグ終了後速やかに連盟・事務局に文書で報告(メール可)の事。
- ④ 予選リーグ戦の選手のベンチ入りは自由とするが、決勝トーナメント戦はエントリー表に記載された選手21名以内、指導者3名以内とする。
- ⑤ 決勝トーナメント戦ピッチの試合前の練習はエントリーされた21名と指導者3名までとする。決勝トーナメントより、試合毎にメンバー表を3部提出する事。
- ⑥ 累積警告2回は、次の試合は出場停止とする。退場の場合は、次の1試合を出場停止とする。
- ⑦ 怒鳴ることがないようにしましょう(保護者や応援の人は指示をしない)。
- ⑧ ケガについて応急処置は行うが、その後は各チームの責任において行う事。
- ⑨ 参加チームはユニホームを正副2着、を用意する(GK・ストッキング含む)。
- ⑩ 会場内は全て禁煙とする。喫煙所が指定されている場合はそれに従う事。
- ⑪ 会場へは公共交通機関を利用して下さい。やむを得ず車利用の場合は、1チーム5台以内とし、車のフロントにチーム名を必ず記載する事(厳守)。

表彰

1位から3位まで表彰する。

1位：優勝カップ、優勝旗、盾、メダル(21個)、ボール

2位：盾、メダル(21個)、ボール

3位：盾、メダル(21個)、ボール 2チーム

*大会事務局(窓口) 小笠原 保

*結果掲載先 <http://www.reysol-noda.jp> 柏レイソルA.A.野田HP内 「東葛地区少年サッカー大会」